

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	日々のその人らしい暮らし	入居者様の思いを尊重し、個々に合わせた生活が送れるように援助する。	職員の都合、業務を優先せず入居者様第一に考え入居者様の話、思いを傾聴し、その人らしい生活が送れる様に援助する。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期へのケアをどこまでできるか	方針理解と職員の意識の統一し、又個々のケア技術のスキルアップ。	内外部の研修への参加、自己学習にてで個々のスキルアップに繋げる。チームミーティング等の場において終末期へのケアの方針の再確認を行ない、職員間で意識の共有をする。	6ヶ月
3	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	入居者様の思いを職員全員が共有し、統一したケアに繋げる。	日々の生活の中で入居者様の思いをくみ取り、職員全員で情報を共有し、チームミーティングにて職員全員で話し合い、介護計画を作成し統一したケアの実施を図る。	6ヶ月
4	31	看護職員との協働	看護師と密に連携を図り、緊急時に迅速に対応出来る様にする。	内外部の研修に参加し、職員自身の医療に関する知識の向上を図り、日々の入居者様の体調の変化を的確に看護師に伝え、連携を図っていく。	6ヶ月
5	36	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保	人格を尊重し、誇りやプライドを損ねない様に心がけ対応する。	入居者様との日々の会話の中で、人生の先輩である事を忘れず、誇り、プライドを傷つけない様、配慮した声掛け、言葉使いを心がける。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。